



鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1) 2020年度版

1-1 基本事項

§1 一般事項

1. 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
2. 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書1-2-4に指定した共通仕様書及び日本建築学会「JASS5(2018)」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」による。
3. 本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。
4. 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

1-2 その他

2-1 鉄筋の表示記号

§2 共通事項

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	×	◇	●	○	◎	⊗	⊙	⊕	⊖	⊗	
呼び径 d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径 D	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46

○ フックのない場合  
 ○ フックのある場合  
 ○ 本数に差がある場合  
 ○ 機械式継手表示  
 ○ ガス圧接、溶接継手表示

2-2 鉄筋の折り曲げ

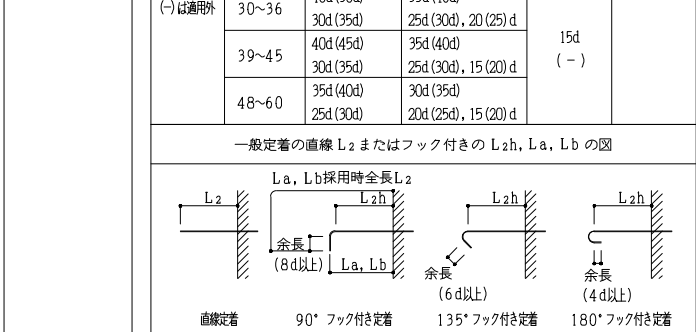
柱・梁・基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折曲げ形状・寸法

折曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法直徑(D)
180°		柱・梁主筋 基礎主筋	SD295	D16以下	3d以上
135°		帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SD345	D19~D41	4d以上
90°		スラブ筋 壁筋	SD390	D41以下	5d以上
			SD490	D25以下 D29~D41	5d以上 6d以上

2-3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

「JASS5(2015)」に準拠

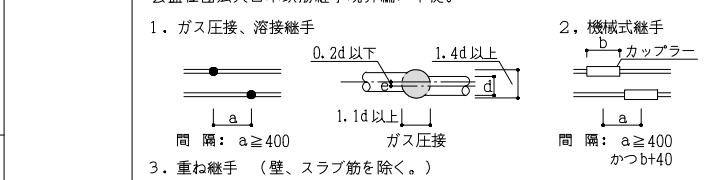
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	重ね継手の長さ		定着の長さ			
		上段直線 L <sub>1</sub>	下段フック付き L <sub>1h</sub>	上段直線 L <sub>2</sub>	下段フック付き L <sub>2h</sub> , L <sub>a</sub>	上端筋	下端筋
SD295 SD345 ( )はSD345を示す	18	45d(50d)	35d	40d	30d, 20d	15d(20d)	
	21	40d(45d)	30d	35d	25d, 15(20)d		
	24~27	35d(40d)	25d(30d)	30d(35d)	20d(25d), 15(20)d		L <sub>s</sub> =20d L <sub>sh</sub> =10d
	30~36	35d	25d	30d	20d, 15d	15d	
SD390 (-)は適用外	39~45	30d(35d)	20d(25d)	25d(30d)	15d(20d), 15d		床スラブの場合 L <sub>s</sub> =10d かつ
	48~60	30d	20d	25d	15d, 15d	150以上	
	21	50d(-)	35d(-)	40d(-)	30d(-), 20d(-)	20d(-)	SD490は適用外
	24~27	45d(55d)	35d(45d)	40d(45d)	30d(35d), 20(25)d		
SD490	30~36	40d(50d)	30d(35d)	35d(40d)	25d(30d), 20(25)d	15d	
	39~45	40d(45d)	30d(35d)	35d(40d)	25d(30d), 15(20)d		
	48~60	35d(40d)	25d(30d)	30d(35d)	20d(25d), 15(20)d		



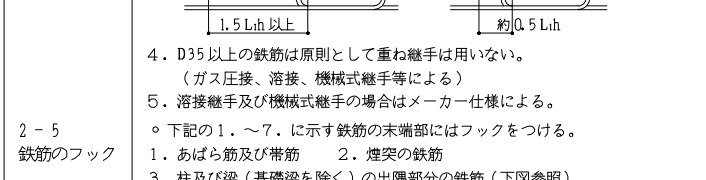
1. 重ね継手の長さは鉄筋の折曲げ起点間の距離、又、フック付きの L<sub>2h</sub> は仕口面から鉄筋の折曲げ起点までとし、末端のフックは定着長さに含まない。

2. 軽量コンクリートを使用する場合は、2-3の数値に5dを加算する。

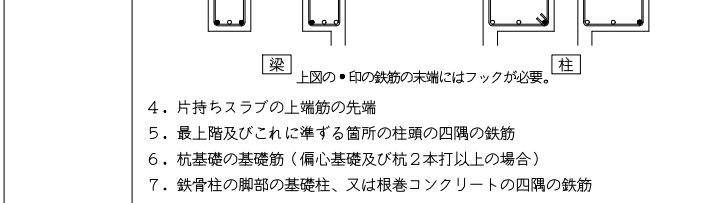
2-4 継手一般



2-5 鉄筋のフック



2-6 鉄筋のあき



2-7 かぶり厚さ

部 位	かぶり厚さ	
	仕上げあり	仕上げなし
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内 30(20) 屋外 40(30)
	柱 梁 耐力壁	屋内 40(30) 屋外 40(30) 50(40)
	擁 壁	50(40)
土に接する部分	柱・梁・床スラブ・壁 布基礎の立上り	50(40)
	基礎・擁壁	70(60)

1. ( ) 内の数値は最小かぶり厚さを示す。

2. 仕上げありとは、鉄筋の耐久性上有効な仕上げのある場合とする。

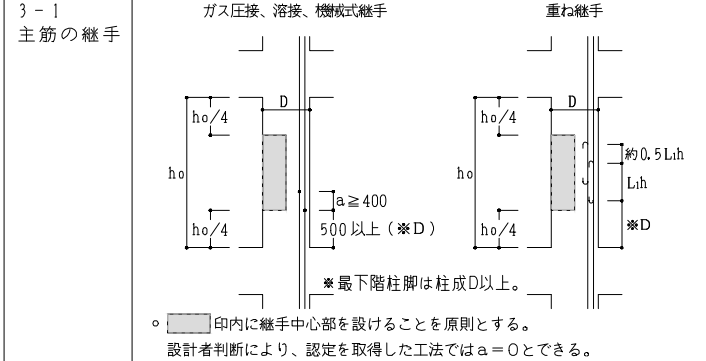
3. ※1 品質・施工法に応じ、工事監理者の承認で10減の値とすることができる。

4. ※2 軽量コンクリートの場合は、これに10加算する。

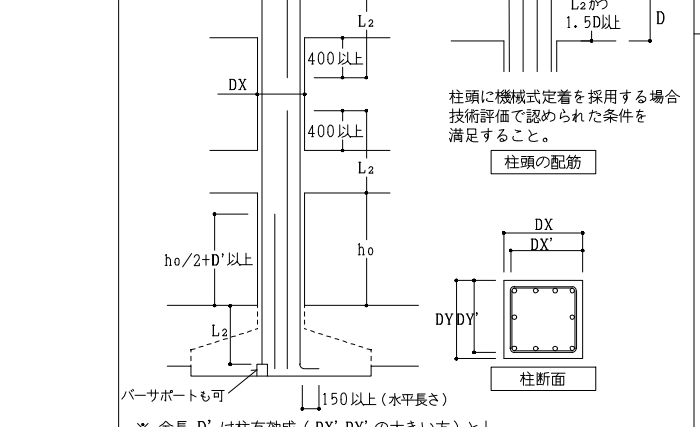
5. 柱・梁の主筋のかぶり厚さは主筋径の1.5倍以上とする。

6. 目地部のかぶり厚さは、目地底からのかぶり厚さとする。

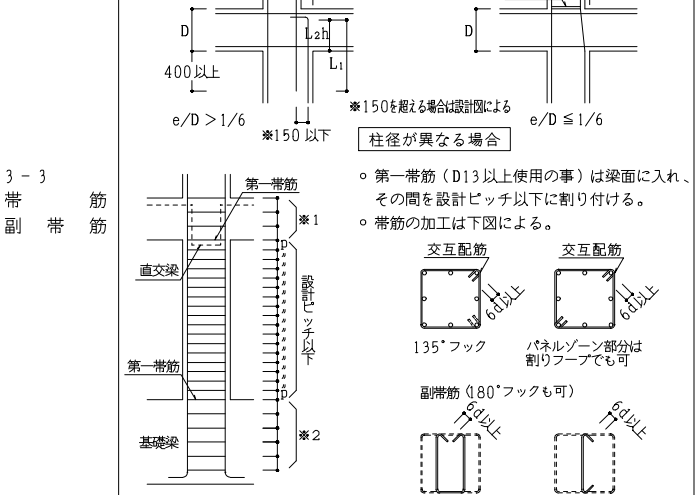
3-1 主筋の継手



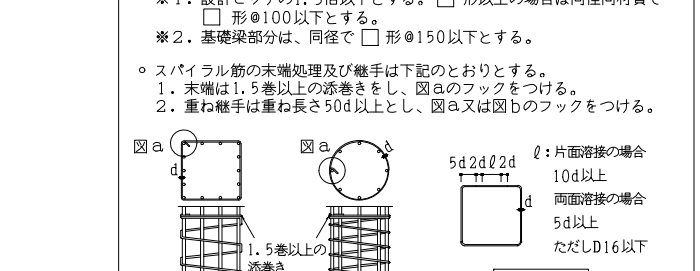
3-2 主筋の定着



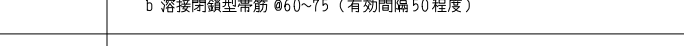
3-3 帯筋副帯筋



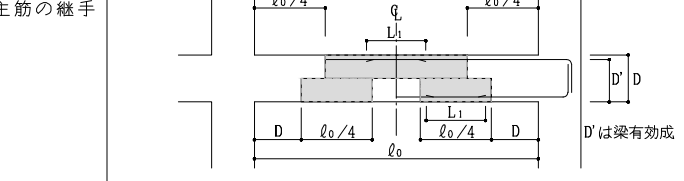
3-4 補助筋



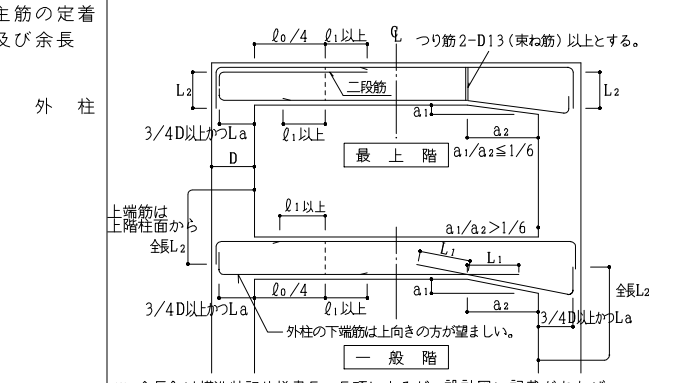
3-5 柱のコンファインド補強



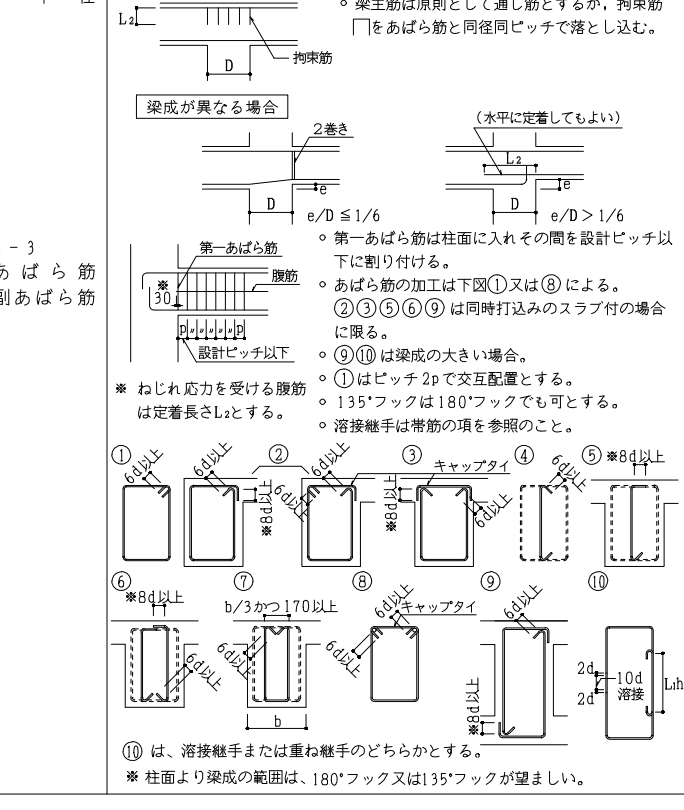
4-1 主筋の継手



4-2 主筋の定着及び余長



4-3 あばら筋副あばら筋



オオバ・hana class 共同企業体

新都市公園実施設計及び建築設計業務委託 2021.01.29

新都市公園整備工事(その3) 設計図

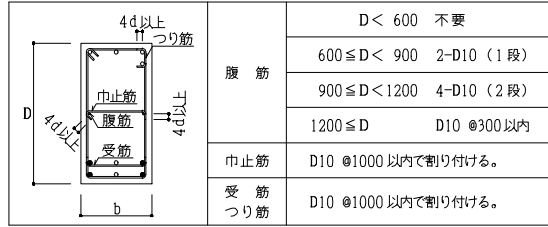
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1級建築士 大匠登録 第284403号 佐原 光治  
 1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第(リ)130号-2

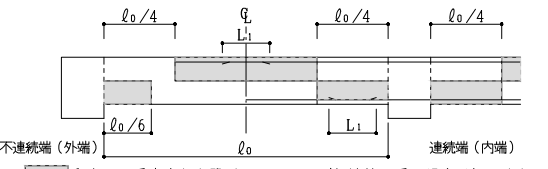
BS-02

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2) 2020年度版

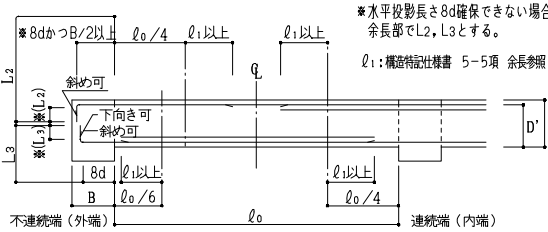
4-4 補助筋



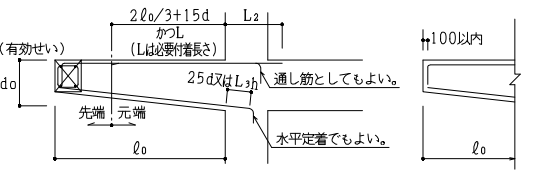
4-5 小梁及び片持梁  
a) 小梁継手



定着

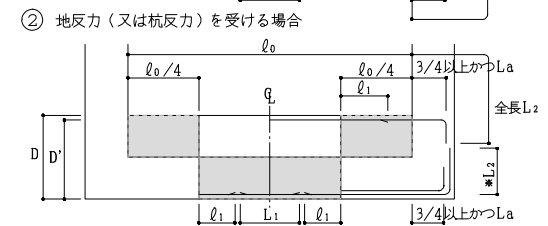
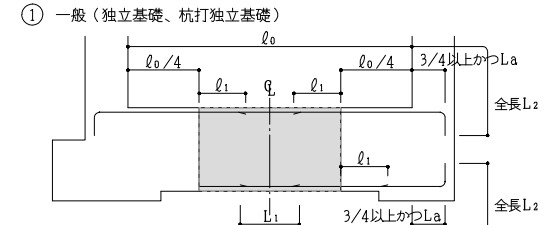


b) 片持梁定着

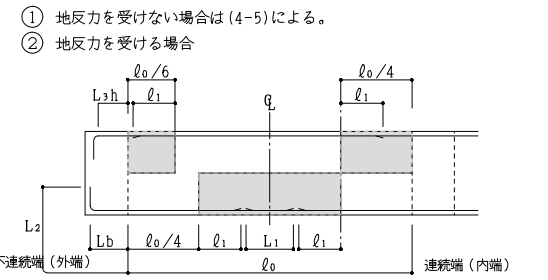


4-6 基礎梁及び基礎小梁

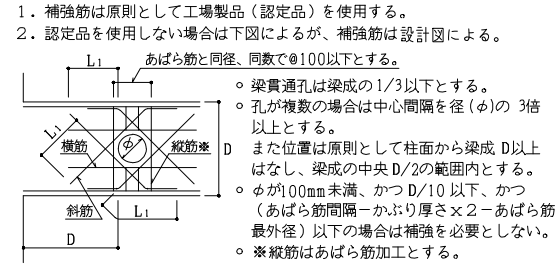
a) 基礎梁の継手及び定着



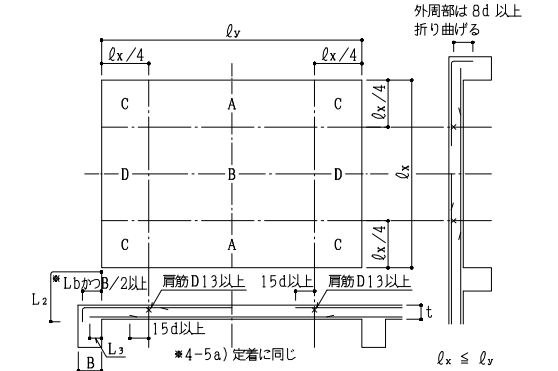
b) 基礎小梁の継手及び定着



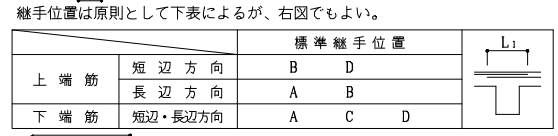
4-7 梁の貫通補強



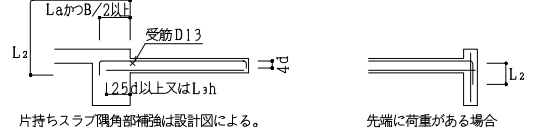
5-1 鉄筋の折り曲げ及び定着



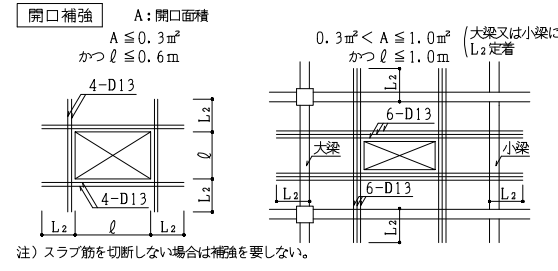
5-2 継手



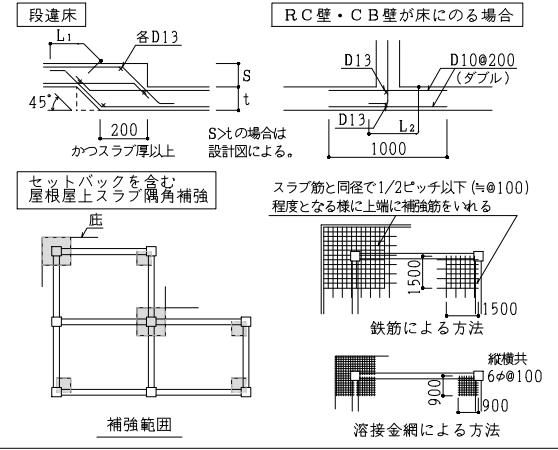
5-3 片持ちスラブ



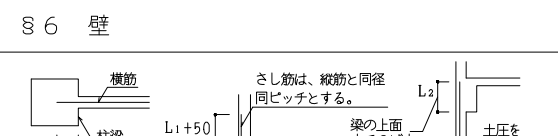
5-4 補強筋



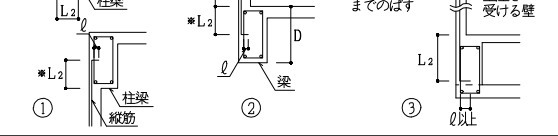
6-1 定着及び継手



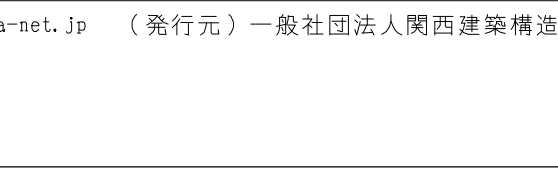
6-2 壁配筋



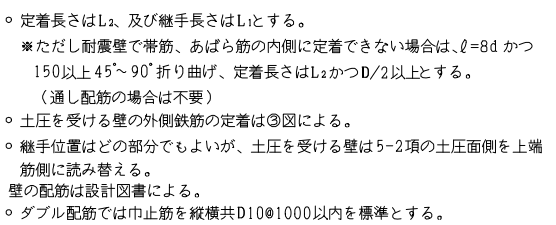
6-3 補強筋



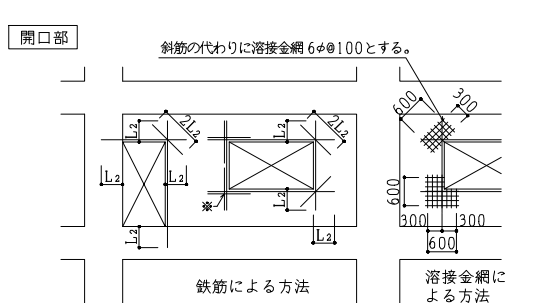
85 スラブ



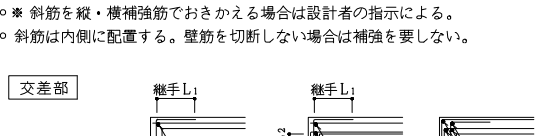
6-2 壁配筋



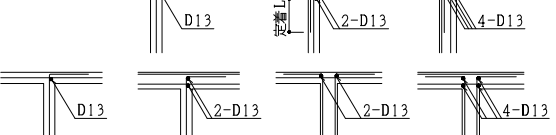
6-3 補強筋



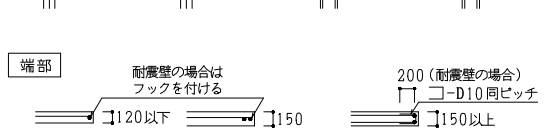
6-4 開口部



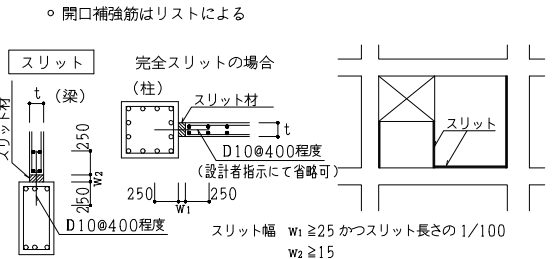
6-5 交差部



6-6 端部



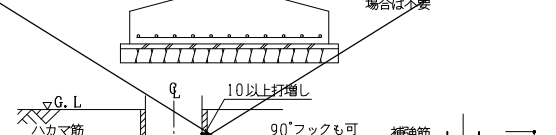
6-7 スリット



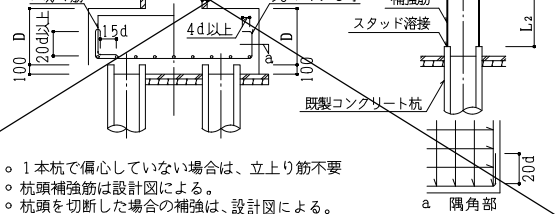
87 基礎



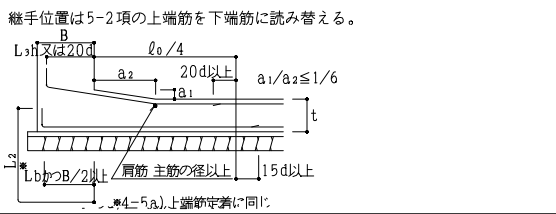
7-1 独立基礎



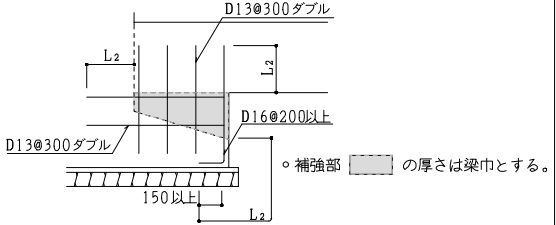
7-2 杭基礎



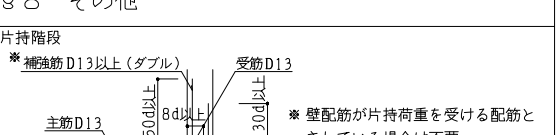
7-3 ベタ基礎継手及び定着



7-4 基礎と基礎梁



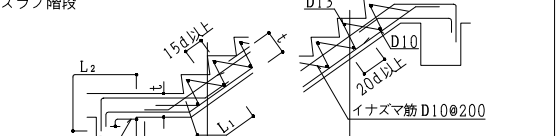
88 その他



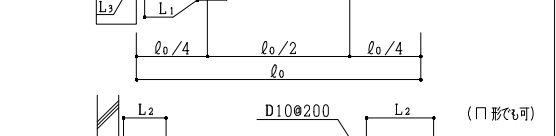
8-1 階段



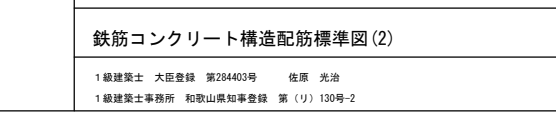
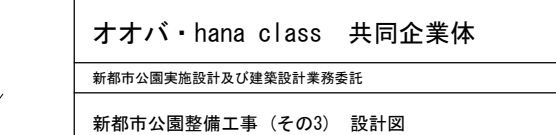
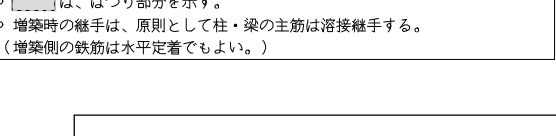
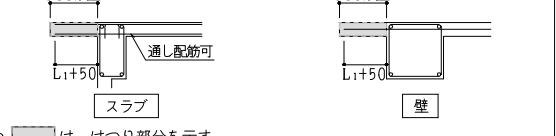
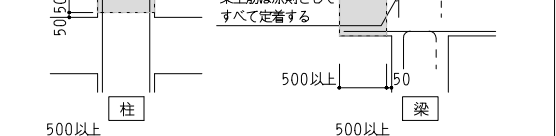
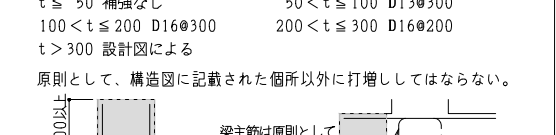
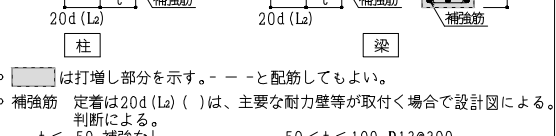
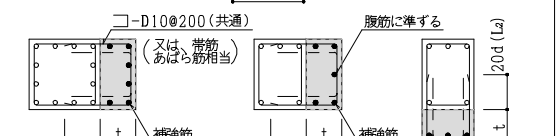
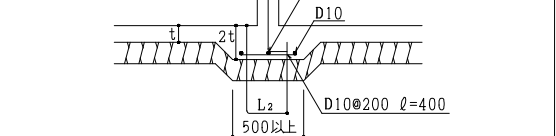
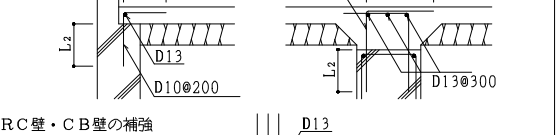
8-2 土間コンクリート



8-3 打増し補強



8-4 増築予定



鉄筋コンクリート壁式構造配筋標準図 2020年度版

§1 一般事項

- 1) 本標準図に記載なき事項は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図による。
- 2) 耐久性上有効な仕上げのない壁（屋内、屋外共）及び土に接する壁は10以上増打ちする。
- 3) 特記なき限り粗骨材は最大径20mmとする。

§2 壁の標準配筋

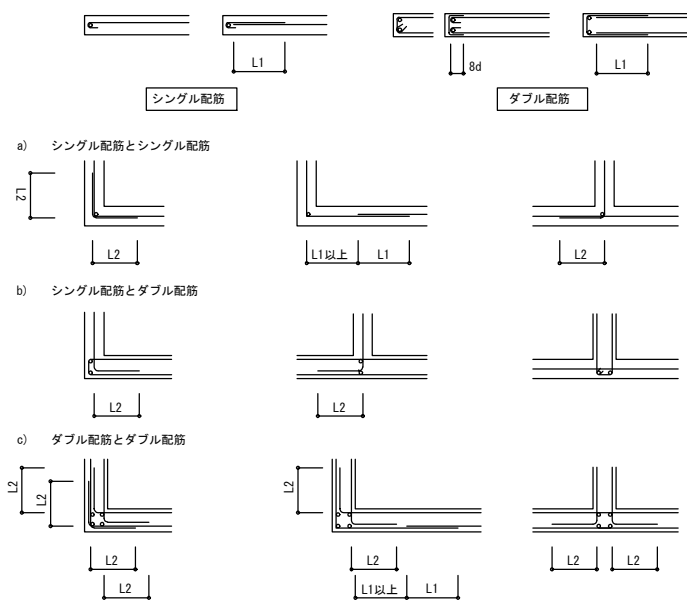
符号	厚さ	縦筋、横筋	開口補強筋	
			縦筋	斜め筋
W12	120	D10-#200(S)	1-D13	1-D10(1-D10)
W15	150	D10-#200(S)	② 2-D13(1-D13)	1-D13(1-D10)
W A		D10-#200(D)	2-D13(2-D13)	2-D13(1-D13)
W B		D10-#200(D)	2-D16(2-D13)	2-D13(1-D13)
W C		D10-#200(D)	④ 2-D19(2-D16)	2-D16(1-D16)

- 1) 特記なき配筋は上表によるが、壁の厚さは§6によるか、梁形を設ける事が望ましい。
- 2) ( ) 内は開口部の高さhがh≦1000の場合を示す。
- 3) (S) はシングル配筋、(D) はダブル配筋を示す。
- 4) ダブル配筋の巾止筋は、D10-#1000以内を標準とする。
- 5) 開口部補強の横筋（壁梁主筋）は設計図によるが、特記のない場合は縦筋に準じ、あばら筋と同一とする。
- 6) 壁符号は設計図に記載なき場合は下表による。
- 7) 地下室のある場合は設計図による。
- 8) ② 2-D13の代わりに1-D19とすることができる。
- 9) ④ 2-D19の代わりに2-D16+2-D13とすることができる。
- 9) 斜め筋の配筋が困難な場合は、縦筋横筋に置き換えてもよい。

階数	W15 (W A)	W15 (W A)	W15 (W A)	W15 (W A)	W12 (W A)
5階	W A	W A	W A	W A	W A
4階	W B	W A	W A	W A	W A
3階	同上	W B	W A	W A	W A
2階	W C	同上	W B	W A	W A
1階	W C	同上	W B	同上	W A

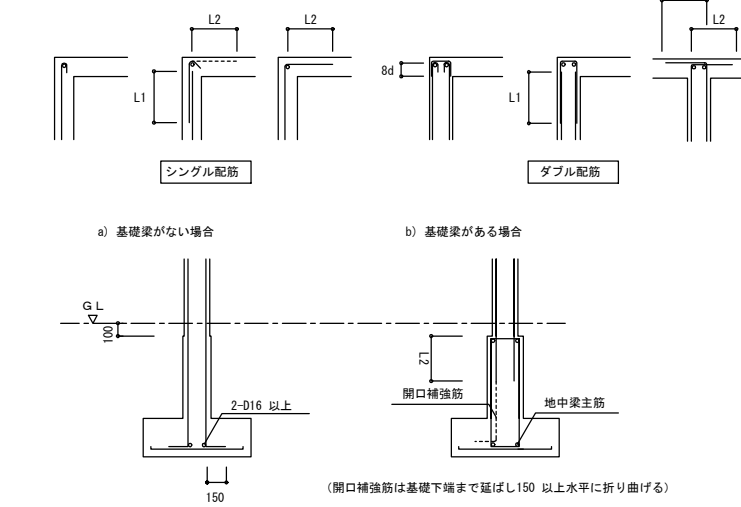
§3 壁筋の定着

ℓ≦1500の壁は柱の帯筋に準じて配筋する。

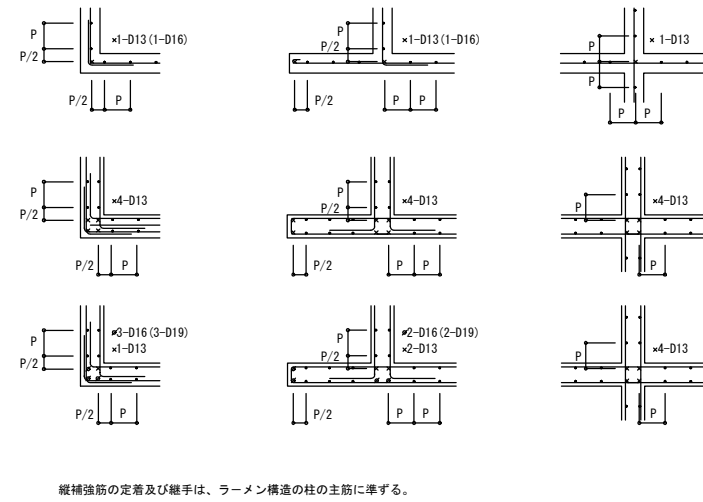


3-3 頂部の定着

3-4 基礎に対する定着



§4 壁交差部の縦補強筋と縦筋のピッチ(P)



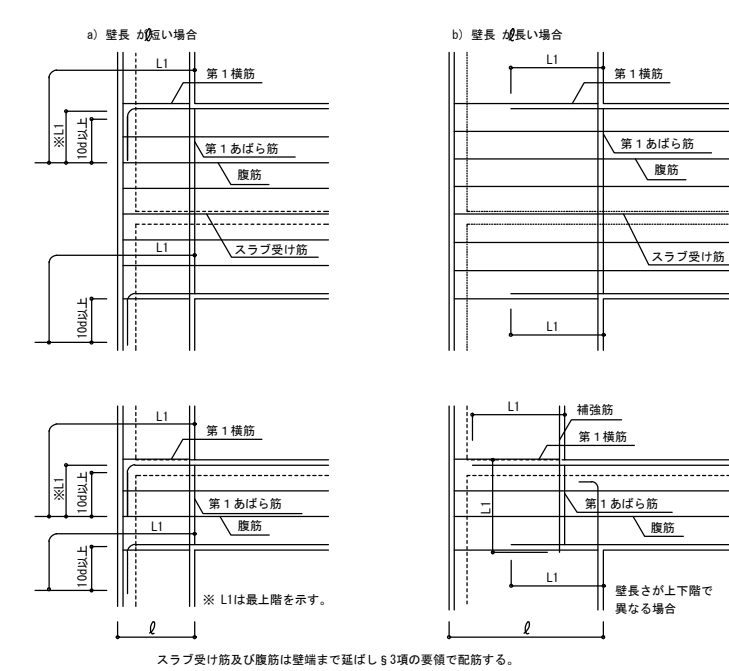
4-1 W12 (W15)

4-2 W A

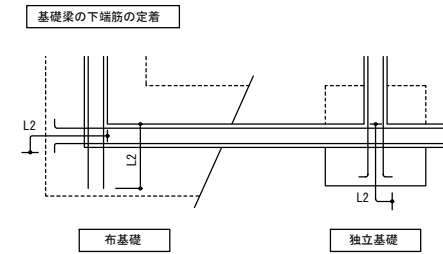
4-3 W B (W C)

4-4 継手、定着

§5 壁梁の配筋

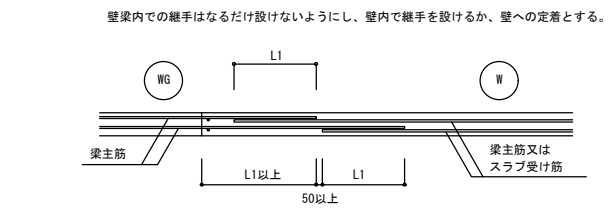


5-1 定着



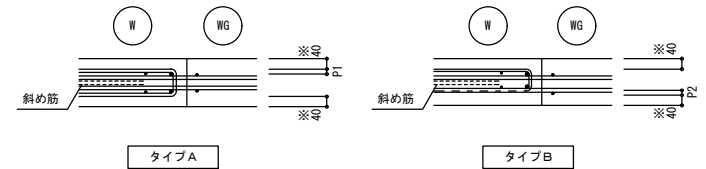
5-2 継手

5-3 その他



- 1) 隣接の梁と同レベルの場合は通し配筋とするが、壁長が非常に大きい場合は定着はL1のみとしてもよいが主筋がスラブレベルと同じ場合は5-2スラブ受け筋との継手とする。
- 2) スラブ受け筋は、ダブル配筋の場合は2-D13、シングル配筋の場合は1-D13とし壁筋の要領で定着する。又壁梁のない場合も配筋する。
- 3) 腹筋は壁の横筋と同径、同ピッチとする。

§6 壁厚及び壁梁の配筋詳細



6-1 配筋タイプ

6-2 タイプ別壁厚表

配筋タイプ別による壁厚表 (mm)							
壁曲げ補強筋	斜め筋	タイプA			タイプB		
		梁主筋			梁主筋		
		D13	D16	D19	D13	D16	D19
D13	D10	190	195	205	185	190	195
D16	D13	195	205	215	190	200	205
D19	D16	200	210	220	200	210	210

- 1) かぶり厚さを40mmとした場合をしめす  
※ 最小かぶり厚さを30mmとした場合、壁厚は上表より20mmとする。
- 2) 主筋のあきは1.5dかつ25mm以上とし、斜め筋が配筋できる寸法とする。
- 3) 主筋と帯筋及びあばら筋の寸法関係は下表による。

壁縦補強筋	壁梁主筋	
	D1	P1
壁筋 D10	D13	20
	D16	22
	D19	23
あばら筋 D10	D2	P2
	D13	26
	D16	26
	D19	26

FAX (06) 6763-8206

http://www.kse-web.com/

2020年2月1日作成 (不許複製)

(販売元) 一般社団法人日本建築構造設計事務所協会連合会 <http://fasa-net.jp>

(発行元) 一般社団法人関西建築構造設計事務所協会 TEL (06) 6763-8205

オオバ・hana class 共同企業体

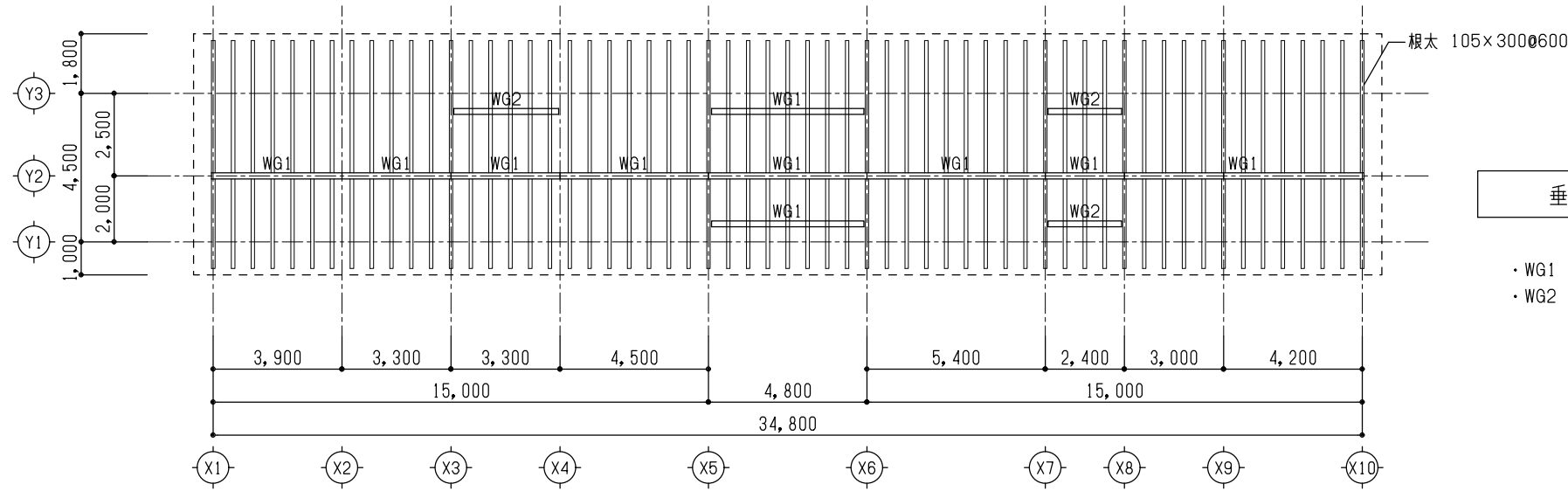
新都市公園実施設計及び建築設計業務委託 2021.01.29

新都市公園整備工事(その3) 設計図

鉄筋コンクリート壁式構造配筋標準図

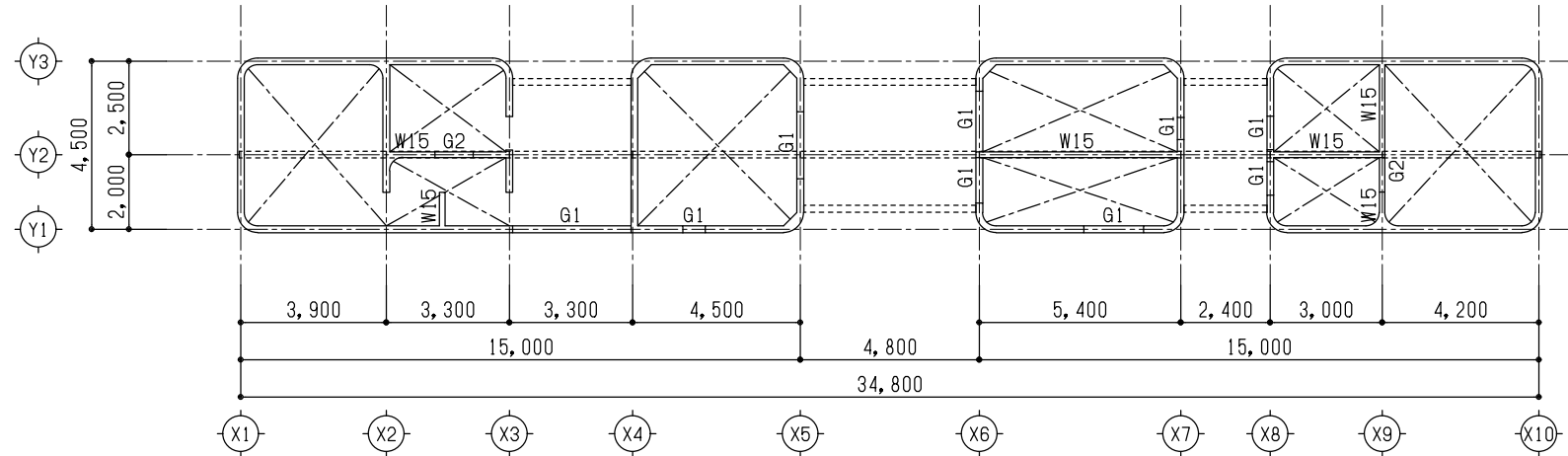
1級建築士 大匠登録 第284403号 佐原 光治  
1級建築士事務所 和歌山県和歌山県 第(リ)130号-2

BS-04



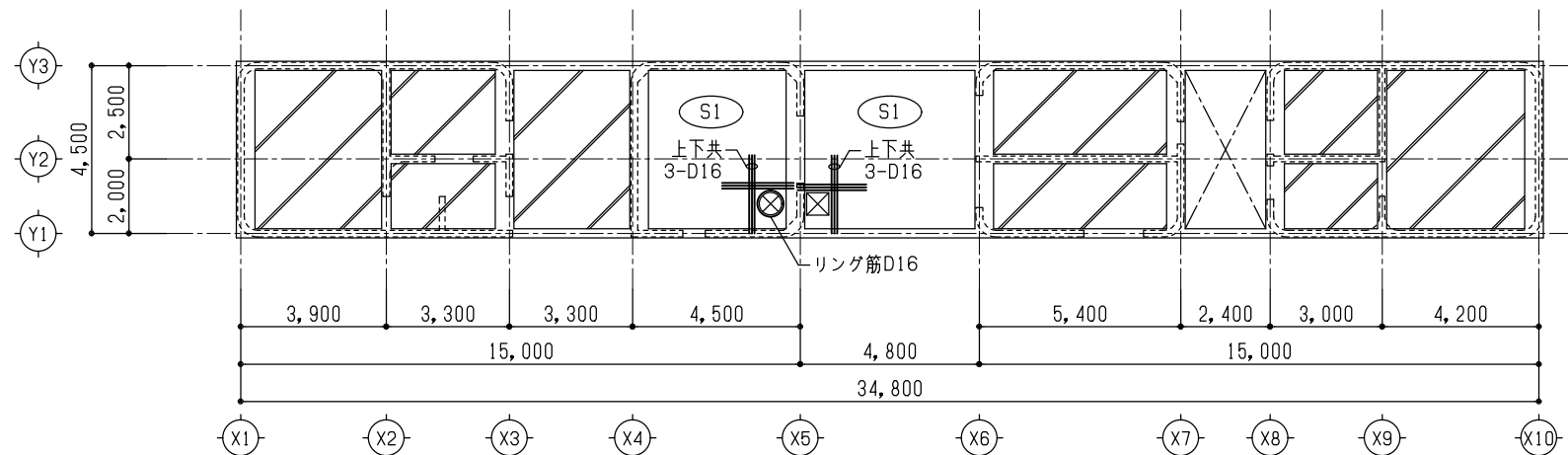
垂木伏図 1/100(A1)  
1/200(A3)

- ・WG1 180×300
- ・WG2 180×300



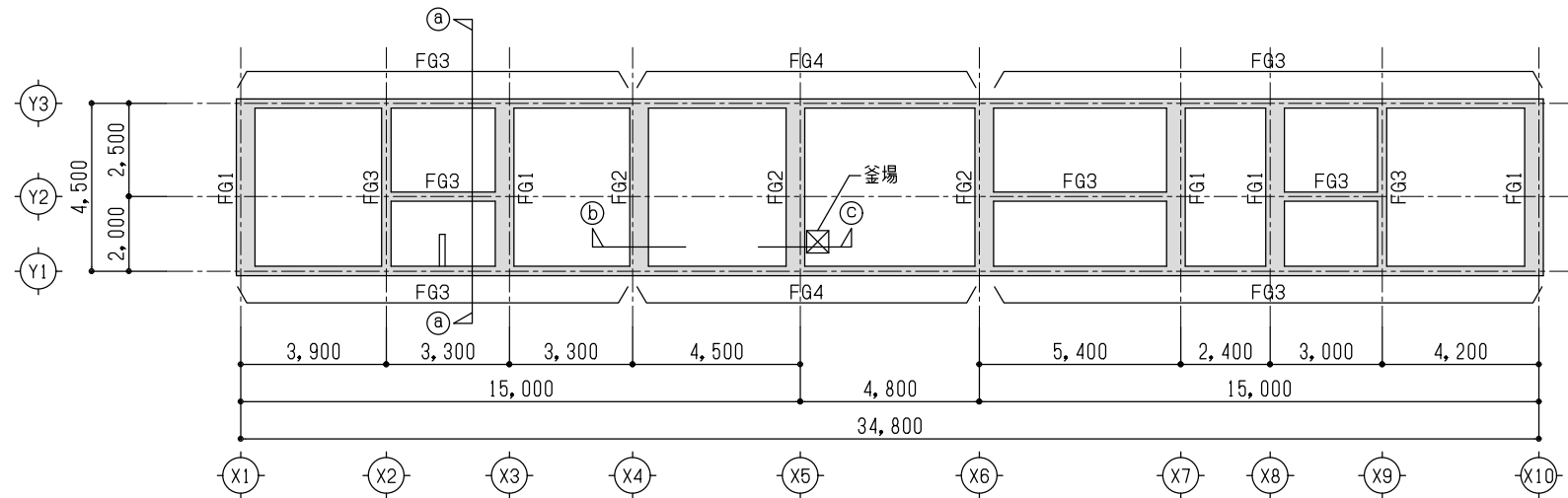
屋根伏図 1/100(A1)  
1/200(A3)

- 特記なき限り下記による。
- ・壁は、W18とする。



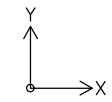
1階伏図 1/100(A1)  
1/200(A3)

- 特記なき限り下記による。
- ・壁は、W18とする。
  - ・印は、土間コンクリートスラブ(D10-φ200シングル)を示す。
  - ・印は、埋戻しを示す。
  - ・土間下は、埋戻しとする。
  - ・印は、床下点検口(600□、600φ)を示す。

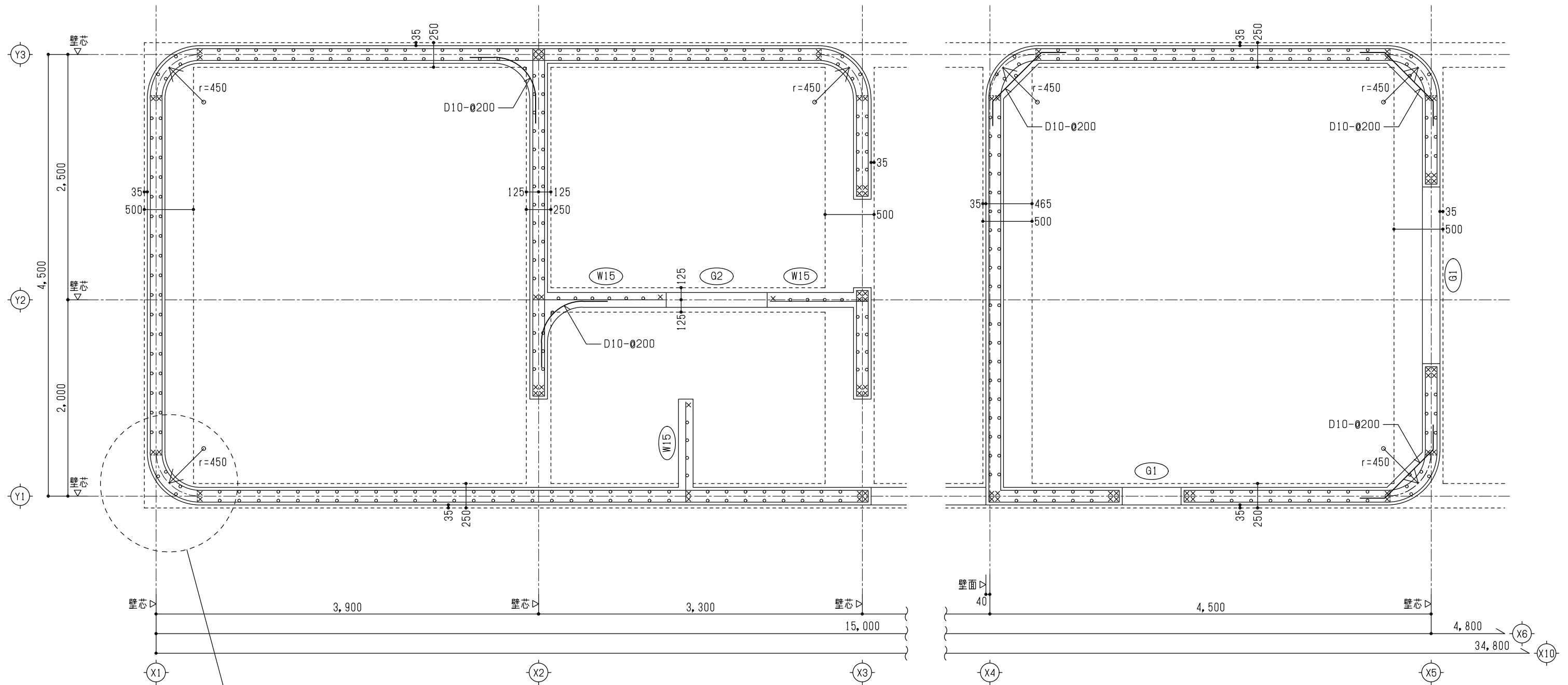


底盤伏図 1/100(A1)  
1/200(A3)

- 特記なき限り下記による。
- ・スラブは、(FS1)とする。
  - ・地中梁天端は、SGL-150とする。



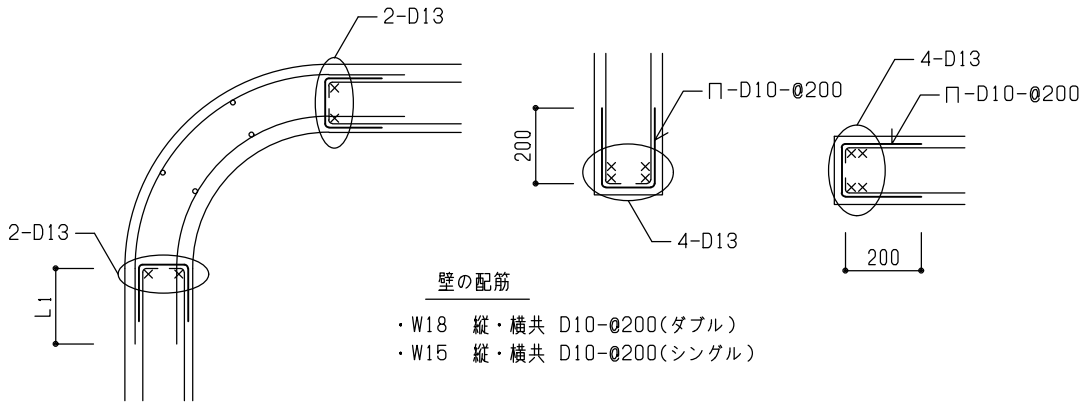
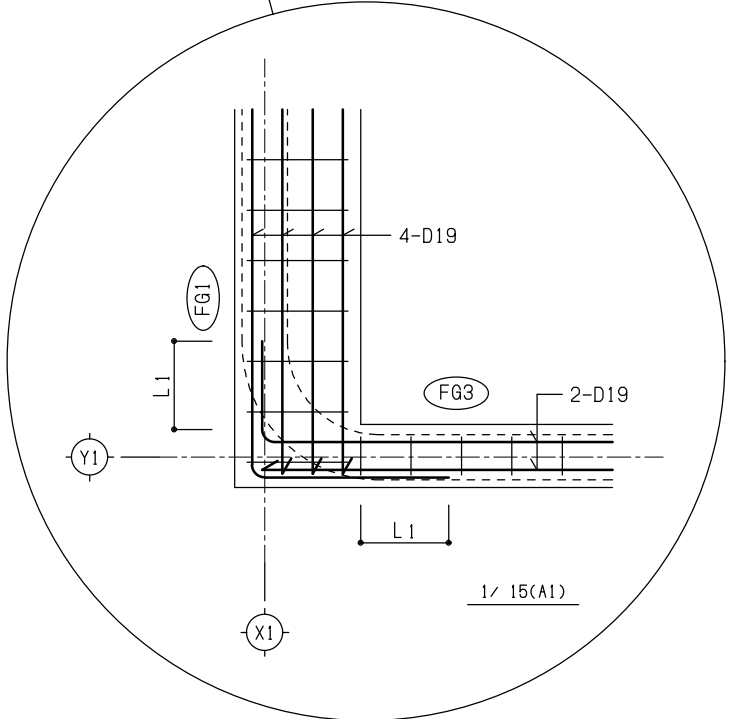
オオバ・hana class 共同企業体	
新都市公園実施設計及び建築設計業務委託	2021.01.29
新都市公園整備工事(その3) 設計図	
便所棟 伏図	<A1>S=1:100 <A3>S=1:200
1級建築士 大匠登録 第284403号 佐原 光治	BS-05
1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第(リ)130号-2	



平面配筋図 1/20(A1)  
1/40(A3)

特記なき限り下記による。

- ・壁は、W18とする。
- ・開口補強筋及びコーナー筋の補強要領は、下記による。



壁の配筋

- ・W18 縦・横共 D10-φ200(ダブル)
- ・W15 縦・横共 D10-φ200(シングル)

オオバ・hana class 共同企業体	
新都市公園実施設計及び建築設計業務委託	2021.01.29
新都市公園整備工事(その3) 設計図	
便所棟 平面配筋図	<A1>S=1: 20 <A3>S=1: 40
1級建築士 大匠登録 第284403号 佐原 光治	BS-06
1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第(リ)130号-2	

地中梁リスト 1/20(A1)

特記なき限り [ 巾止め筋 D10-φ1000 ] [ 鉄筋種別 D16以下: SD295A D19以上D25以下: SD345 ]

符号	FG1	FG2	FG3	FG4
位置	全断面	全断面	全断面	全断面
断面				
上端筋	4-D19	4-D19	2-D19	2-D19
下端筋	4-D19	4-D19	2-D19	2-D19
あばら筋	□-D13-φ200	□-D13-φ200	□-D10-φ200	□-D10-φ200
腹筋	2-D13	6-D13	2-D13	6-D13
備考				

使用材料	
コンクリート	Fc-21
鉄筋: D19以上	SD345
D16以下	SD295
木材	
桧	JAS 無等級

\*D19は、重ね継手で可

大梁リスト 1/20(A1)

特記なき限り [ 巾止め筋 D10-φ1000 ] [ 鉄筋種別 D16以下: SD295A ]

階	符号	G1	G2
	位置	全断面	全断面
R	断面		
	上端筋	2-D13	2-D13
	下端筋	2-D13	2-D13
	あばら筋	□-D10-φ200	□-D10-φ200
	腹筋	2-D10	1-D10
	備考		

床版リスト

符号	床厚	位置	短辺			長辺			TYPE	備考
			中央	A, B	端部	中央	C, B	端部		
			端部A	中央B	D, C	端部C	中央B	D, A		
S1	150	上端筋	D13-φ200	—————>	>	D13-φ200	—————>	>		
		下端筋	D13-φ200	—————>	>	D13-φ200	—————>	>		
FS1	250	上端筋	D16-φ150	—————>	>	D16-φ150	—————>	>		
		下端筋	D16-φ150	—————>	>	D16-φ150	—————>	>		

オオバ・hana class 共同企業体

新都市公園実施設計及び建築設計業務委託 2021.01.29

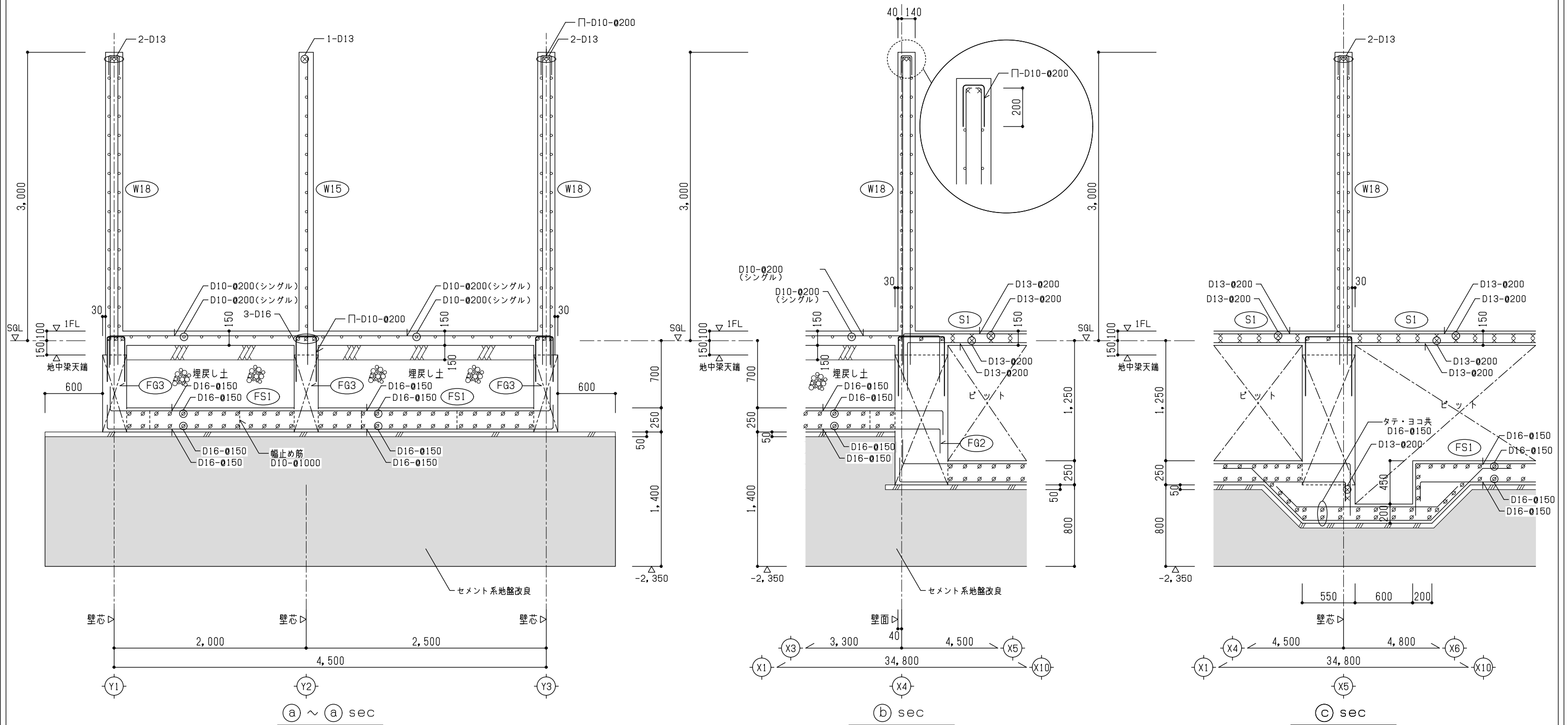
新都市公園整備工事(その3) 設計図

便所棟 地中梁リスト・大梁リスト・床版リスト <A1>S=1: 20 <A3>S=1: 40

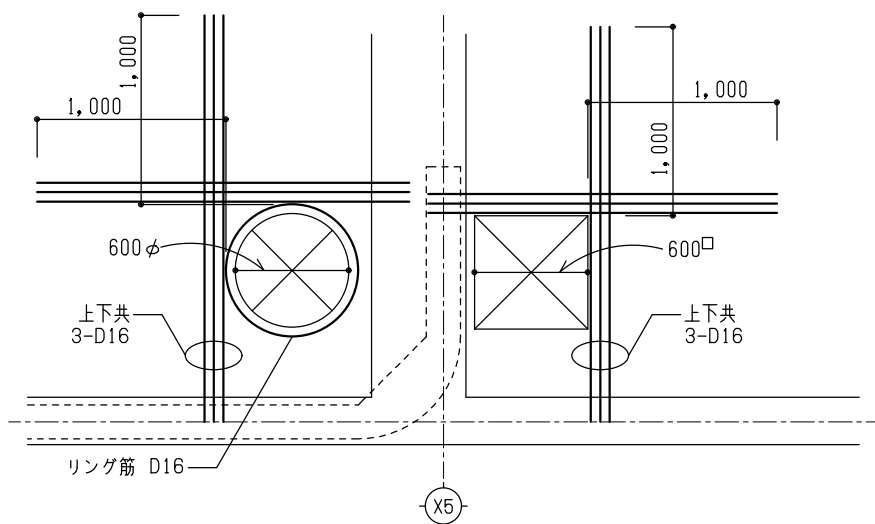
1級建築士 大匠登録 第284403号 佐原 光治  
1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第(リ)130号-2

BS-07

配筋詳細図 1/ 20(A1)



開口補強要領 1/ 20(A1)



オオバ・hana class 共同企業体

新都市公園実施設計及び建築設計業務委託 2021.01.29

新都市公園整備工事 (その3) 設計図

便所棟 雑配筋図 <A1>S=1: 20 <A3>S=1: 40

1級建築士 大匠登録 第284403号 佐原 光治  
1級建築士事務所 和歌山県知事登録 第(リ)130号-2

BS-08